

平成29年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	15927 地域介護予防活動支援事業				
基本政策	01 とともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち				
政策	05 高齢者がいきいきと暮らせる長寿社会				
施策	01 自立生活の支援・介護予防の推進				
実施形態	一部委託				
事業期間	単年度	平成18年度～			
要求区分	継続	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	義務規定あり				
法令名 条項	介護保険法第115条45第1項第1号 地域支援事業実施要綱 (H29.6.28老発第0628第8号)				
予算科目	10-050101-010300				
部名	24 暮らし安心部	課名	03 健康課		
課長名	塩崎 さゆり	T E L	0795-22-3111	内線	360

2. 対象・目的・内容

事業概要	<p>1. 介護予防運動教室（在介委託）：週1回3か月間で計12回、筋力アップを目的に8地区で教室を開催する。</p> <p>2. 介護予防普及啓発事業（在介委託）：介護予防に関する知識の普及啓発のため5地区で開催する。</p> <p>3. 高齢者生きがい健康づくり事業（高齢者大学運営協議会委託）：高齢者の生きがいと社会参加の促進を図る活動を実施する。</p> <p>4. 健康教育：出前講座、高齢者の食事会、いきいきサロン等、地域からの依頼で健康教室等を実施する。</p> <p>5-1. 介護予防いきいきサロン（社協委託）：交流と介護予防を目的に、各町等（市内35会場）で月1回程度開催する。</p> <p>5-2. 週いちサロン（社協委託）：週1回おりひめ体操をサロン（4会場）で実施する。</p> <p>6. 萩ヶ瀬会館サロン（社協委託）：拠点型サロンとして、総合福祉センター（萩ヶ瀬会館）で、週1回おりひめ体操や談話、レクリエーションなどを行う交流の場を開催する。</p> <p>7. 元気応援カフェ事業（社協委託）：市内の喫茶店等（5か所）で、おりひめ体操の実施や介護予防、健康づくりを目的とした集いの場の開催を支援する。</p> <p>8. 生活支援サポーター活動支援事業：生活援助に関する知識を習得し、買物や話し相手などの支援をボランティアとして行う活動を支援する。</p>
事業の対象 (誰・何を)	第1号被保険者の全ての者及びその支援のための活動に関わる者
事業の目的 (どういう状態にするために)	高齢者が住み慣れた地域で、できるだけ長く自立した生活ができるように高齢者の自主的な健康づくりや介護予防を推進する。介護予防に取り組む高齢者が増えることで、市民の生きがいづくりや交流促進につながる。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	介護予防に関する地域活動を支援し、住民主体の通いの場を支援する。 おりひめ体操を普及させる。

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成26年度決算額	10,840	2,473	1,236	0	0	950	4,945	1,236
平成27年度決算額	11,197	2,559	1,280	0	0	962	5,117	1,279
平成28年度決算額	12,251	2,827	1,414	0	0	942	5,654	1,414
平成29年度予算額	6,428	1,372	686	0	0	940	2,744	686

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成28年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成28年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.50	0.00	0.50	3,896	12,251	16,147
事業費の主な用途		専門職の報酬費、委託料、消耗品費、保険料			

平成29年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名	開催回数				単 位	回
	説 明 や 数 式	いきいきサロン、介護予防運動教室等開催回数					
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目 標 値	800	540	600	700		
	実 績 値	352	338				
	経 費 (千 円)	8,850	9,313				
単 位 当 た り の コ ス ト	25.14	27.55					
活動 指標 ②	指 標 名	開催回数				単 位	回
	説 明 や 数 式	高齢者大学開催回数					
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目 標 値	64	76	76	76		
	実 績 値	72	76				
	経 費 (千 円)	4,362	4,022				
単 位 当 た り の コ ス ト	60.58	52.92					
成 果 指 標 ①	指 標 名	参加人数				単 位	人
	説 明 や 数 式	いきいきサロン、介護予防運動教室等参加実人数					
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目 標 値	1,000	1,000	1,100	1,200		
	実 績 値	955	891				
	経 費 (千 円)	8,850	9,313				
単 位 当 た り の コ ス ト	9.27	10.45					
成 果 指 標 ②	指 標 名	参加人数				単 位	人
	説 明 や 数 式	高齢者大学参加実人数					
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目 標 値	460	480	485	485		
	実 績 値	481	471				
	経 費 (千 円)	4,362	4,022				
単 位 当 た り の コ ス ト	9.07	8.54					
実 績 ・ 成 果 等 の 説 明	1. 介護予防運動教室 12回×8会場 96回 147人 2. 介護予防普及啓発事業 13回 348人 3. 高齢者生きがい健康づくり事業 76回 471人 4. 健康教育 55回 1,785人 5-1. 介護予防いきいきサロン 242回 744人 5-2. 介護予防いきいきサロン(週いち型) 168回 81人 6. 萩ヶ瀬会館サロン 342回 90人 7. 元気応援カフェ 5か所 104回 1,075人 8. 生活支援サポーター活動支援事業 8回 51人						

6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	4	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	4	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	4
	事 業 の 総 合 評 価	継続実施					
説 明	住み慣れた地域で、いつまでも元気で生活するためには、地域全体で高齢者を支えるとともに、自分自身でも介護が必要な状態にならないように予防していくことが大切になる。高齢者が主体的に介護予防に取り組むことができる地域活動を支援するとともに、高齢者を支えるために、介護予防に関するボランティアの育成を推進していく必要がある。						
2 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	4
	事 業 の 総 合 評 価	継続実施					
説 明	本事業は、法律により義務付けられているものであり、高齢化が進むなか、高齢者が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう、また自分らしい生活ができるよう支援することは、ますます必要となっている。ただし、健康教室を各団体に委託しているにも関わらず、職員の健康教室への従事時間が多いため、健康教室への関わり方を検討することが必要と考える。また、1教室当たりの参加者数が少ない教室もあるので、今後とも広く参加者を募るとともに、市民の主体的な介護予防を促すため、介護予防サポーターの育成にも努められたい。						